

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 26年 4月 16日〔水〕 19:30～21:00
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 8 名 出席委員数 7 名 欠席委員数 1 名
出席委員の氏名
深田 剛／里村 正力／重村 久美子／元井 雄太郎／元田 豊春／元野 健三／肥後 智子
欠席委員の氏名
越間 孝子
放送事業者側出席者名
麓 憲吾／丸田 泰史／沖元眞実／上野紋／渡陽子／中田健治／手蓑慎之祐／作井美由紀

- 4 議題
審議(「夕方フレンド」について)

- 5 議事の概要
(1) あまみエフエム、および番組審議会についての説明、番組審議委員の自己紹介など
(2) 審議(「夕方フレンド」について)
(3) 次回の審議議題について

- 6 審議内容
(1)あまみエフエム、および番組審議会についての説明、番組審議委員の自己紹介など
ー放送局長 麓より
あまみエフエムの概要についての説明
ー放送局 丸田より
番組審議会についての説明
ー放送局スタッフ 自己紹介
ー番組審議委員 自己紹介
欠席委員についての説明
ー番組審議委員の、委員長、副委員長を選出
委員長に 深田 剛氏、副委員長に 元野 健三氏が満場一致で選任された。

- (2)番組内容の審議(「夕方フレンド」について)

深田委員長

みなさんお疲れ様です。毎回中身の濃い議題を提案して、それを各委員で持ち帰り、審議委員会で意見を出し合う形式です。アドバイス・アイデア・変わった意見、大歓迎です。新しい考えを入れることでディ！ウェイヴがさらなる進化を遂げると思いますので、思う存分意見を出し合えたらと思います。よろしくお願ひします。

第 43 回の審議対象の番組「夕方フレンド」の説明をしてから、審議に移りたいと思います。日時は、本放送が毎週月曜日から土曜日、夕方の 6 時から 20 分間。夕方の生ワイド「ゆふいニングアワー」内で放送しています。再放送は、翌日の午後 3 時 30 分から。土曜日は、月曜の同時刻に放送しています。内容は、奄美に暮らし、奄

美に来て様々な活動をしている人に、活動のこと、奄美とのつながり、島に対する思い、などを伺います。人選は、集落に暮らす先輩方、島に関わる活動をしている方、そして島でスポーツや音楽などに励んでいる子どもたち、奄美について研究している研究者など多岐にわたります。

今回あまみエフエム ディ！ウェイブから聞きたいことが、4つあげられています。

1. ゲストとパーソナリティーとの掛け合いはわかりやすいか。
2. 20分という限られた時間で、ゲストの人柄や話の内容はきちんと伝わるか。
3. 人選や人数は適当だと思うか。
4. その他、気づいた点、感想など自由をお願いします。

CDが事前に送られています。その内容は、3月17日放送の龍郷町秋名集落での聞き取り調査を終えた、鹿児島島の岡野特認准教授との掛け合いです。このときのパーソナリティーは丸田さんでしたね。4月1日放送の選抜高校野球の大島高校の応援団を支えた吹奏楽部の方々との掛け合い。このときのパーソナリティーは上野さんですね。4月2日のフットサルの選手権大会での優勝チームと実行委員の山田太郎さん、この回はパーソナリティーは渡さんでしたね。それぞれ限られた20分という中で、お話を聞かしていただいたところで、各自のご意見や感想、もっとこうしたらいいんじゃないかとか、素朴な疑問でも構いませんのでそういったものをお一人ずつおっしゃってもらったら助かります。

元田委員

聴いてみて、パーソナリティーそれぞれ3人の話し方の特徴があつて、飽きずにとっても聴きやすかったです。時間とゲストとの人柄や話の内容については、自分の好き嫌いがあると思うんです。人柄や話の内容はわかりました。興味があるかないかで変わるので、飽きないっていうのがいいと思います。人数はよかったと思います。甲子園の吹奏楽部の回は、ほかの2つ(CDのこと)と比べて、自分の思い入れがあるので違うと思うんですけど、聴いててすごいうれしいし、実際に見に行っただけですけど、あの子たちが一生懸命話してて、裏の話も聴けてすごいよかったです。まとまらないですけど、こんな感じです。

深田委員長

ありがとうございます。元田委員は、夕方フレンドに出演ことがありますか？

元田委員

夕方フレンドには出演したことはないですけど、5月に出演のお願いをするかもしれないです。

深田委員長

話は脱線しますが、(あまみエフエムのスタッフに対し)出演者を探すときって大変ではないですか？

ー放送局 上野

その場合によるんですけど、こういうのをお知らせしてほしいというのを言っていて、出ていただくこともありますし、出会った人の中から「この人がおもしろいから話聞いてみてごらん」ということから紹介していただく場合などあるんですけど、時期によってたくさん来ていただいてすぐに1週間分埋まることもあれば、そうではなくなかなか決まらずにどうしようっていうときも正直あります。

深田委員長

新聞には前もって載っていますが、ギリギリまで決まらないっていうこともあるんですか？

—放送局 上野

はい。決まらずにギリギリになったことはあります。

深田委員長

ありがとうございます。では、元井委員お願いします。

元井委員

ゲストとパーソナリティの掛け合いは、素晴らしいと思います。聴いてても楽しいしわかりやすいし、素晴らしいと思います。中田さん(オペレーター)をいきなりパーソナリティとして使ったりとかはできないんですか？たどたどしい感じが聴きたいんですが。

—放送局 丸田

新人の中田と手薮は、今「奄美市だよりラジオ版」(行政広報)を案内しています。

元井委員

(時間については)20分という限られた時間ではあるんですが、ちょうどいいと思います。20分だから話もまとまって、ああいうスタンスでやっていけるのかなと思います。人柄はもちろんだし、「あ、これ聞いてほしいな」ということをパーソナリティの方が聞いてくれるので、いいと思います。人選・人数については、(ゲストは)3人が限界かなと思います。CDの中にもゲスト6人というのがありましたが、大所帯になると、「この人の話をもっと聴きたい」と思っても次の人に移っていたので、例えば、山田太郎さんのお話だけでも20分つなげると思うし、優勝したチームの親子の話をもっと聴きたかったんで。(ゲストを3人ぐらいにすると)そしたら回っていくのではないのでしょうか。一気に7人を呼んじゃうと、7人で「はいっおわりっ」ってなっちゃうと思います。なので、3人ぐらいがいいと思います

人選については、大変だとは思いますが、番組審議会のメンバーや青年団のつながりなんかを利用して連連していただければ、自分たちの近くにいれば是非協力したいと思いますので、そのときは声をかけてください。

深田委員長

ありがとうございます。元井委員からの「人数」の聴きやすさについて、確かにそうだなと思いました。(あまみエフエムのスタッフに対し)最高で何人くらい入れたことがあるのか教えてください。

—放送局 丸田

中学校の野球部は10人くらいいましたね。ただし、一声お名前を自己紹介でもらうくらいで、メインで話すのはキャプテンだったり監督だったりを決めてしました。

—放送局 渡

普段は、メインで聞く人を決めてやろうと思うんですが、この前の方々は、(経験したことの無い)史上最大の多さで難しかったです。

ー放送局 上野

今回みなさんに聴いてもらうサンプルを選ぶときに、パーソナリティ3人っていうのももちろんですが、岡野さん(ゲストが)1人、吹奏楽部3人、大所帯というのを選びました。誰が対応しても苦戦するところではあるので。こちらとしても、「2~3人がちょうどいいですよ」とは言うものの、みんなで思い出に出たいと言ってくれる方もいらっしゃると思います。

元井委員 陽子ねえ(方言訳:姉さん)、よかったですよ。(感想)

ー放送局 渡

人数が多くて、すごく難しかったです。人数が多いときに、どなたがキーマンなのか、トークの中で探るのが苦手なので、自分の課題ではあります。

深田委員長

ありがとうございます。元野委員お願いします。

元野副委員長

掛け合いの部分では、パーソナリティそれぞれ個性があるので、そのまんまでいいと思います。とくに渡さんはそのまんまでいいと思います。ラジオ的に聴き取りやすいのは丸田さんと上野さんの声だと思うんですが、独特の渡さんのしゃべり方は、僕の周りでも大好評なので、変わらずこのままでいてほしいなと思います。一生懸命引き出そうとしているのが伝わってくるのが、いいのかなという感じが毎回してます。商店街のイベントで出させてもらっているのですが、放送前に簡単な打ち合わせをしてスタートするんですけど、やっぱり突拍子もないことが出てきたりすると思うので、そのときの対応も(パーソナリティ)それぞれ上手いので、ちゃんと引き出していると思います。そのへんの掛け合いは、聞きたいことを聞いてくれている部分があるので、いいかなと思います。

時間については、出さしてもらったときに、あっという間という部分はあるんですけど、リスナーとして聴く側だと、ちょうどいいという風には思います。元田委員が言ったように、自分のあまり興味のないことだと、あまり入ってこない部分もあったりすると思うので、そのへんは妥当な時間ではないかという感じはします。ゲストでいらしゃったら一言もらわないといけないということになると思うので、人数は多すぎるとこの時間の中では難しいのではないかという気はします。

深田委員長 私も出演したことがあるのですが、合間のCMのタイミングはどうですか？

元野副委員長

助かると思います。僕が行くときには、2~3人で行くので、CMの間に「次は誰がいく」という打ち合わせができるので。タイミングはいいのかなと思います。話が反れた時に修正するためにも通してされるよりはいい。

深田委員長 ありがとうございます。肥後委員お願いします。

肥後委員

鹿児島大学教育センターの方の話は、非常に興味がある内容でした。笠利の八月踊りなどに密着して生きてきたので、うちの家族の中でも議題に上がるような内容でした。私も子どもがいますけれども、例えば「なんで

あの時代はああだって、この時代はこうだったんだろう」と掘り下げていくと、環境が人に与えている影響、環境が人格すべてを形成していくんだっていう話とか、全部、環境がすごく大事なんだっていうこと、子育てにも結果的に全部つながっていくとかも、わかっていることなのですが。こういうことって、外部の人が発見することが多いんですよ。海がきれいだとか、当たり前を感じていることが、これは当たり前ではないんだよ、すごいことなんだよ、と外から来た人たちが発見して発信していく。この先生たちも、本当なら奄美に住んでいる私たちが(自分達で)話を聞けば簡単なのに、鹿児島大学の先生がわざわざ来て、話を聞いて具現化して残そうとしてくれている。島に住んでいる私たちは当たり前すぎて必要性を感じなかったのかもしれない。そういうことを、リスナーは、改めて自分たちのことを知るいい機会だったんじゃないかなと思います。もっと聴きたいというのが、私の印象です。

話を引き出すのは、丸田さんがすごく上手で、例えば五感を使って「目と耳と」と具体的に例をあげていたのが、リスナーには頭の中で思い起こしやすい。(岡野)先生は、伝えたい方だからやっぱり発信する力があって、丸田さんは聞き出す力があって、テンポもすごくよくて会話も途切れることなくすごくよかったです。上野さんは、大島高校に取材に行きこれまでのことを見てきたこともあって、上手に引き出していました。親近感もあってリスナーが共感する場面もありました。(吹奏楽部員の気持ちのことで)言われなきゃ気がつかないことを言ってくれたときに、聴いてる人達にすんなり入ってきて、わかりやすく伝えてるなと思いました。大島高校生も誰かに伝えたいっていう思いもあったと思います。フットサルの山田さんは、代表者だけあって、自分が情報を発信しなきゃという思いがわかりました。先ほども話しに出ましたが、あまり人数が多いとゲスト間で遠慮が見えると思いました。複数のチームで出演するよりは、同じチームで出演する方が遠慮せずにしゃべれたのではないかと思います。

深田委員長

ありがとうございます。肥後委員の感想は、発信する側と聞き出す側に焦点を当てている感じに聞こえたんですけど、(サンプル)3 つとも(ゲストとパーソナリティの)相性はいいように感じましたか？

肥後委員

聞き手側(パーソナリティ)が、どれだけ下準備できているか、知識があるのかというので違うと思います。渡さんはスポーツが苦手と言っていましたが、テレビなどでスポーツの観戦はしますか？

—放送局 渡 野球は見ますね。

肥後委員

(ゲストが)野球の人だったら、聞きだしやすかったと思うんです。フットサルの様子をもっとわかっていたりすると話をもっと膨らませられたのではないかと思います。おそらく丸田さんは世界遺産が好きなんですよ？ 見えないことを聞くのは、興味があることだからだと思うんです。上野さんは音楽をされていたんですか？ 見えないことを聞けるっていうのは、経験があるからだろうなと思いました。苦手なら苦手なりの下準備、引き出しをたくさん持って、具体的に聞かれる方が、答えやすかったりします。ラジオだと話の中で間があると、リスナーも緊張するんですよ。

深田委員長

夕方フレンドのパーソナリティは、ローテーションが決まってるんですか？

一放送局 渡

入れ替わりがあるときもあります。このサンプルの時には、急に決まったのですが、もっと調べるべきだったと思います。

深田委員長

わかりました、ありがとうございます。里村委員お願いします。

里村委員

みなさんの意見で言われてしまいましたが、時間、内容には問題ないと思います。私は、ゆっくり聴く時間がなくて、流しながら車の中や時間をみつけて聴きました。聴いた時の伝わりやすさという点では、複数名のグループでの話だと、じっくり聴けばわかるんですけど、掛け合いをしている中で、どの方がどの話をしているのかみえてこないところがありました。(ゲストは)多くて3名、メインの方でも1~2名の方が、自分みたいに聞き流すリスナーとしてはすんなり伝わりやすいと思います。(仕事の経験から)映像の作品を作るときに、30秒の作品に20人全員の顔を映してくれと言われたことがあります。無理やりその要望に応えているときもあるんですが、そういう作品はコンテストで賞が獲れない。こちらの思うどおりの構成に出来ないの。聴きやすさとか番組のクオリティを求めるなら、そのへんのバランスは重要になってくると思います。団体でみんな出たいということもあると思いますが、メインになる人をあらかじめ打ち合わせるようにして、ラジオ出演の注意点を説明して出演してもらえたら理想的だと思いました。

大島高校の回の裏話が印象に残っています。PRがメインだと思っている方がほとんどだと思いますが、インターネットや新聞に出てこない裏話を聴きたいです。それだとラジオで聴く価値があると思います。あまり文章化されてないことを聴こえてくると、興味が出てくるなという印象です。

深田委員長

里村委員は、(里村委員自身も)制作活動をしている中で、お話を聞きたい分野があれば教えてください。こういう分野も面白い、など。先ほどいただいたご意見の、「文章化されていない」というのもヒントだと思いますが。

里村委員

目立ってない、「普段の仕事は何をしているの?」という方のお話を聞いてみたいと思います。目立っている人はどどんラジオなどにも出ていると思うのですが、逆に目立っていない人は伝わりにくい部分があると思うので。市役所でも、普段市民の方がよく行く部署と、そうでない部署があります。市民の方が行かない部署で黙々と仕事をしている方がたくさんいらっしゃるの、マイナーでおもしろい人がいれば、話を聞きたいです。

深田委員長

ハブの買い上げする担当の方に、話を聞いてみたいですよ。

里村委員

市役所は例えばの話ですが、他の業種でもあまり目立ってないけど、実はおもしろいことやってたり、黙々とやっていることが奄美のためになってることがあるかもしれないと思います。

深田委員長

ありがとうございました。重村委員、お願いします。

重村委員

岡野先生のお話についてですが、(龍郷町)秋名集落が出るということで特に興味を持ってききました。「准教授」と聞くと、難しい話かなと身構えてたのですが、BGM がかすかに流れていてすごくリラックスしながら聞けました。パーソナリティもすごく勉強して聞き取りをしたんだなということがすごくわかりました。先生に対しても、感動したり驚いたりするときには、方言で表現していたのがすごくよかったです。自然の環境、自然遺産というのは、手付かずのままを残すのがいいのかな、と思っていたのですが、お話を聞いて、そうではなく、労働があって、恵があり、感謝があり、祭りがあり、地域でのコミュニケーションが大事ということが、とても勉強になりましたし、時間も短くてわざわざ聴きに行かなくてもラジオで聴けて、すごく得をした気分になりました。

大島高校の回は、選手のお話は新聞やテレビでもよく見聞きしていましたが、吹奏楽部がいかに準備してきたのかが、上野さんと吹奏楽部の女の子たちとの姉妹のような「楽しいおしゃべり」で、舞台裏がすごいわかりました。(吹奏楽部が)選手ひとりひとりにリクエストを聞いて、曲を準備したことも初めて知りました。もうひとつの甲子園を楽しむことができました。縁の下の力持ちを取り上げるのも興味がありました。

渡さんのフットサルの回ですが、フットサルが私にとって身近でなかったせいか、あまりよくわからなかったんですが、渡さんの豪快な感じがにじみ出っていて、楽しかったです。フットサルが室内でできることと、ボールがひとまわり小さくて、あまり跳びはねないことがわかって、びっくりしました。BGM がかすかに流れているのが心地よく聴くことができます。

深田委員長

主婦の目線から、聴き取りにくい時間帯ではあると思うんですが、午後 6 時 20 分という時間はどうですか？

重村委員

この時間は炊事をしていて忙しいのですが、CM が入るときに急ぎのものはやったりしますので、時間的にもちようどいいと思います。

越間委員(欠席のため文章にて後日提出された意見)

1. ゲストとパーソナリティの掛け合いはわかりやすいか。

いつも、楽しく聴いています。パーソナリティの方は、ゲストの方に合わせて選んでいるのかな？と思いつつ聞いています。わかりやすいからそう思うのですが。

2. 20 分という限られた時間で、ゲストの人柄や話の内容はきちんと伝わるか。

20 分という時間は、意外と短いなど。ゲストの人柄や活動などを出来るだけ紹介しようと、努力なさっているのはわかります。ですが、ゲストのお人柄がわかるまでは、時間が足りないと思います。でも、知るきっかけにはなっています。

3. 人選や人数は適当だと思うか。

いつも、その時旬な、色々な方がでられるので、情報としても助かっています。ゲストの人数は、3 名までが限界かなと思います。

4. その他、気付いた点、感想など

仕事をしながら毎日、聞いています。「夕方フレンド」もそうですが、最近番組で、大体の時間を知るこ

とができて助かっています。「お茶ど！」なら 15 時で、おやつタイムにしようとか。「ASIVI A LIVE」なら 17 時で、あと少し仕事がんばろうとかです。これからも、奄美の情報発信宜しくお願い致します。

深田委員長

私自身の感想として、夕方フレンドは、あまみエフエムに接する機会、いろいろなゲストが階段を上ってスタジオに入るという、あまみエフエムとの最初のリアルな接点になる番組だと思います。私も夕方フレンドに出演して、思い出になったしスタッフの方ともコミュニケーションをとるようになったのでいい機会になりました。いろんなジャンルで、夢じゃなくても深掘りしていくとおもしろい人がいるので、そういう方にスタジオに入っていただくとファンが増えるんじゃないかと思います。番組の中でも一番の安定感のある番組だと思います。そうであるからこそ長いスパンでやり続けているんじゃないかと思います。それぞれのパーソナリティの個性がすべて引き出されていると思います。質問なんですが、パーソナリティは今 3 名体制ですか？

—放送局 丸田

(常勤の)パーソナリティ 3 名、ボランティアパーソナリティが 2 名います。そのうち実際に夕方フレンドのパーソナリティをするのは、ボランティアパーソナリティ 1 名を含めて 4 名です。

深田委員長

スポットを当てる基準が、ローカルでいいなと思います。もうひとつ質問なんですが、先ほど肥後委員から「外(島外)」というキーワードがありましたが、外(島外)の方と内(島内)の方の出演のバランスは意識されてるんですか？

—放送局 丸田

もちろん、島内で活躍されている方々がいて、私たちが知らない活動をしている方もいらっしゃるので、そういった方々にも出演してもらおうというのが、この番組の趣旨のひとつでもあります。奄美に関していろんな研究をされている方が島内島外含めてたくさんいらっしゃいます。どんなことをされているのか、学会や業界でしかわからない情報を島の発見につながるように、出演してもらおうのも趣旨にあります。その中で、島内の方はもちろん、島外の方が海外の方を連れてくることもあるし、きれいに混ざっている感じではありますね。

深田委員長

サンプル 3 つについては、バラエティ豊で、深掘りのある回だったなと思います。長い間同じスポンサーでやってるということもあり、番組へのスポンサーさんの評価も高いと思うんですが、スポンサーさんからの感想を聞く機会はあるんですか？

—放送局 沖元 直接はないです。

深田委員長

経営者的にスポンサー枠が空けば、手を挙げたいなというくらい、魅力的な番組だということを最後に示させていただきたいと思います。

では、次回の審議会について、説明をしたいと思います。次回の審議内容は「はまだま一ぼの あっただんま

ドゥシ」についてです。本放送は、毎月第 1、第 3 日曜の 60 分番組です。再放送もあります。第 5 週はスペシャルゲスト、番組内容は 2009 年 1 月スタートの地域住民参加番組で、パーソナリティは濱田政信さん(まーぼ兄)です。毎回、島に住むゲストを迎え、その人の島での暮らしや人となり、力を入れていることや仕事などについて伺いながらリスナーに「愛と笑いを届ける」トークバラエティ番組です。あまみエフエムの中でもバラエティ番組はなかなかないと思いますので、CD を聴いていただいて感想をお願いします。出演ゲストには、友人など次回のゲストを紹介して繋いでもらっている。ゲストには、序盤にパーソナリティへのお土産、中盤では自分の好きな曲、エンディングで身の回りの誰かへの感謝の手紙、という 3 点をお願いしている。皆様に次回お願いしたいことは、1.ゲストとパーソナリティの掛け合い、雰囲気はどうか 2.ゲストの人柄や話の内容は伝わるか 3.60 分という時間は適当だと思うか 4.その他、気づいた点、感想など自由をお願いします。今回収録されている音源は、4 月 20 日放送分の第 149 回放送分のゲスト濱島美保さん、龍郷町の方をゲストに迎えています。1 時間どうやって場を持たせるのか、興味深いですよ。ここで事務局にバトンを渡します。

一放送局 丸田

はい、ありがとうございました。2 ヶ月に 1 度の開催ということも冒頭にも説明しましたが、次回の開催を 6 月 19 日木曜日にしたいのですが、みなさんいかがですか。(一同了承し、6 月 19 日に決定する)。

一放送局 丸田

今回、初回ということもありますので、あまみエフエムや NPO 法人ディ！に対する感想、質問などありましたらぜひお聞かせいただきたいのですが。

元田委員

祖母の家では、いつもラジオが流れていたもので、懐かしい感じがします。ラジオが大和(大島郡大和村)にくるまでは、母が家事をしながらテレビをつけていたのですが、ラジオが来てからテレビを消して、ラジオを聴くようになって、すごく懐かしい感じと、なにかラジオが、大和に「近い」というか、聴きたいラジオが大和に入って、すごくうれしかったです。ありがとうございます。以前ある会に参加したときに、島の人たちから出る意見は(島について)割と悲観的、島には何もないなどの意見が多かったんですが、I ターンで来られている若い女性の方が、「奄美っていうところはすごいいいところ。ただそれをみんな忘れてるし、知らないだけだからそういう意見が出るんじゃないか。」と言っていました。ラジオの中でも島のことを伝えてくれているし、島の下の子たちにももっともって島のよさを伝えてほしいと思います。

元井委員

自分は、あまみエフエムを農作業をしながら聴いているんですが、ラジオのよさはなにかをしながら聴くことができるので、自分はヘビーユーザーです。島の人ほとんど聴いてるんですよ。聴いてる人たちの意見の中で、使い慣れてない方言をしゃべっていることに不快感があると聞いたりするんですが、そういうのを気にせずにごんごん使ってほしいと思うんです。「(方言の使い方が)なってない」という人の意見を完全に無視しろとは言いませんが、方言というのは無理やりでも使っていけば、いつか浸透してくるんですよ。言い慣れなくても使っていけば、それが若い人たちに「かっこいい」くらいのレベルに上がって行って、みんなが普通に使えるようになっていけば、あまみエフエムはひとつ大きなことをしたんじゃないかと思うので、是非方言をどんどん使って放送してってください。お願いします。

元野副委員長

私は島に帰ってきて4年くらいになるんですが、ラジオを車で聴くのが当たり前になってきたことがすごい事だなと思います。同窓がラジオで出るってことで連絡を取ることがあって、聴いたりしてるので、今の時代、サイマルラジオで島にいなくても聴けるってことは、つながりがラジオでできてるというのは、自分たちの小さいころでは考えられないことだったので、その場所を作っているってことが島のためになっているし、いろんな方面につながりができているので、島の人間としては助かっています。島だけではなく、外にも発信して繋げていけたらなと思います。深田さんがやっているような「しーまブログ」もそうなんですが、東京にいるときに島でやっていることが全然わからなかったのが、情報のつながりってというのはとても役に立っていると思います。ばんばん島を宣伝してってください。

肥後委員

内地の人は、「時間がゆっくり流れている」といいますが、奄美の人は意外と忙しいんです。地盤がここにあって、親戚や友だちの繋がりががあるので、ひとりひとりはそのなかにゆっくりは流れていない。その中で、内地から来る人だから、自分たち家族だけの時間をゆっくり取れるんだと思います。私たちも忘れていたことがあって、私たちが海辺を家族で散歩しに行かないですよ。でもそれ(家族で散歩しているのを)を見たときに、とんでもなくもったいないことをしているかもしれないと思って、私は(海に)子どもたちを半ば強制的に連れて行くんです。(一同笑)「大事なことを忘れていたから」と自分に言い聞かせるように思っています。昔はやることがなかったから海で遊ぶけど、今は子どもたちも忙しくて、思い出は作らなきゃできない気がします。I ターンの方は望んできているだけあって、私たちよりも満喫しています。私たちは海に行くと魚を捕るか貝を捕るかなんですが(一同笑)、あの人たち(I ターン者)は、ほんとに海で遊んでる。すごく有意義に過ごしている。「なんで潜ったことないの？」っていうのも、あの人たちに言われて、「覗いてみようかな」という感じがして、望んでくる人っていうのは、楽しみ方を知っているのかなと思いました。いったん離れてみて気づくこと、離れてみないとわからないことがあるんですけど、ここで生活していると忙しくてそれも忘れてしまいがちななと思います。奄美を盛り上げようと思っている人たちみんなそれぞれ思いはあるんですけど、ここに携わるって人たちは、その思いを形にした人たちなので、制作・パーソナリティはそれを発信したいとか変えたいとか島をPRしたいと思っていらっしやるので、聴く人たちもうまく人に言えないけど、共感して聴いてくれていたり発見したり、毎日聴くラジオの中で毎日発見があるんだろうなと思います。審議委員会は始まって1回目ですけど、是非もっといろんな人に、奄美のことを想っている人ということを広げて行けたらなと思います。1年間よろしくお願ひします。

里村委員

島の人は意外と忙しいというお話をしていたんですが、ディ！（放送局）のみなさんも忙しそうだなと思ってみてるんですよ。（仕事の経験上）遊び心、ゆとりを持つ努力をしています。そこから生み出されることがあると思うので。みなさん、通常の業務は忙しいと思うんですが、是非ゆとりを持つ努力をしていただけたら、それがプラスになってあまみエフエムらしさに繋がると思います。ガチガチ考えずに、ゆとりを持つ努力をしてほしいと思いました。

ー放送局 麓 気をつけます。(一同笑)

重村委員

番組名にはいつも感心しています。番組名はどなたがつけたんですか？みなさんでつけたんですか？「ヒマバン・ミシヨシーナ！（あまみエフエムの番組名）」なんかイタリア語みたいにか聞こえない(一同笑)。

私たちの世代では、方言が禁止だったんです。それが今、子どもたちの学校でも島口大会があるくらい、方言が輝いて聴ける時代になったっていうのは、エフエムさんの力だと思います。上野さんにしろ、ここの出身でもないのに、あんなに方言を上手にしゃべれるし、丸田さんも上手だし渡さんも上手だし、びっくりするくらいです。どんどん使っていってほしいです。小さい子どものうちから、ちびちゃんたちも上手ですよ、「ありがっさまりようた」もちゃんと言えるし、あれすごいいいなと思いますね。麓さんが、先日新聞で「島にいても十分に力を発揮できる」元ちとせさんにしろ、カサリンチュにしろ、土台があってこそだと思います。私のデンマークにいる友人が、(あまみエフエム)をよく聴いてるそうです。島の方言でうるうるしているそうですよ。これからも(方言を)どんどん使ってください。

深田委員

ディ！さんは、無から有を生む、何もないところから作り上げたことをリスペクトします。若手(新入社員)の方にお伝えしたいのが、今まで島内だけに発信していたラジオが、サイマルラジオという形で、インターネットを通じて外にディ！の情報が出るといことは、逆に言うるとそのサイマルラジオを聴く可能性があるのです、今まで先輩方が7年間作り上げたものに油を欠くことなく、常にもっと新しいものを作り出してより日本全国にディ！を聴いてもらう努力をしてもらわないと、ある意味ひとつ扉を開けていると思うので、是非頑張ってくださいなと、エールを送らせてもらいます。

私自身は、島にすることが最高にクールだと思っています。島にいて島で生活するのが一番かっこいいと思います。行こうと思えば、2時間で東京に打ち合わせにも行けるわけです。お金軸じゃなくて、時間軸で考えれば、島にいても(可能)。離島の中でも、主要都市に行けるのは、この奄美大島だけだと思います。よくわたしは奄美大島をひっくり返して、それをアジアの中心に置き換えていつも意識しています。絶対に奄美は、世界とまではいかなくても、地域の中心という、距離的に言えば、北方領土からぐるっとまわすと主要な都市にはアクセスできるくらいの距離の近さなんですよ。ですので、そういう意味では、奄美で生活するっていうのが最高にかっこいいという意識をこれからも持っていきたいと思います。

そして、ディ！さんのすごいところが、甲子園もですが、去年一昨年アメリカからもレポートも、どこからでも発信できるという媒体、可能性は無限大にあるなと思っていますので、是非頑張ってもらいたいなと思います。

一放送局 丸田

いいことだけではなくて、たくさんのご指摘もいただきたいなと思いますので、是非気になることがあったらズケズケと私たちに言ってもらいたいなと思っています。今日はありがとうございました。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成26年5月3日(土曜日)6:00~放送
- ② 書面の備置き:平成26年5月3日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成26年5月3日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし